

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4 年次生 斉藤 雄之

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受けて平成 29 年 7 月 29 日から 8 月 10 日の間フィリピンのセブ島に滞在しました。そして、“AHGS English Academy”で英語を学ばせて頂き、ボランティアも行なって来ましたので、報告致します。滞在中はフィリピン人の友達を作り、コミュニケーションをとりながら、英語はもちろん異文化も同時に学ぶことを目標としました。



写真 1. フィリピンのリゾート

2. 語学学校

私が通っていた AHGS はセブシティの中心にあり、滞在先はそこから徒歩で約 10 分の所にありました。AHGS の周りは、セブ島で最大級のショッピングモールのアヤラモールやローカルレストランが多く密集している地域でした。とても立地がよく、学校のお昼休みや放課後は、ローカルレストランやアヤラモールでよくランチやディナーを食べていました。

AHGS は、入校の初日にテストを行い、レベル 1～5 にクラスを分け、マンツーマンで授業を行うというスタイルでした。私は今回、フィリピン人とコミュニケーションをたくさんとることを目標としていましたので、スピーキングの授業を中心に選択しました。1～8 コマの 1 レッスン 50 分授業で毎回先生が代わるので、違ったアクセントが聞けて勉強になりました。発音矯正の授業では、「ア」という発音でも、英語では 3 パターンの発音があり、

日本の発音との違いに苦戦しました。先生は教科書の内容はもちろん、フィリピンの文化なども教えてくれました。



写真2. レギュラーティーチャー(英語総合)



写真3. レギュラーティーチャー
(スピーキング)

3. 滞在先について

AHGS 生は、ホテルで複数人部屋と1人部屋を選ぶことができ、今回は複数人部屋を希望しました。セブシティーにあるサロッサホテルという所に宿泊しました。スーパーもレストランも近くにあって、立地がすごくいい所でした。AHGS 生は全員日本人なので、ルームメートも全員日本人でしたが、部屋では日本語禁止のルールを作り、語学力の向上に努めました。ルームメート同士すごく仲良くなることができ、一緒に料理を作ったり勉強したりしました。勉強面以外においても学ぶことが多かったです。



写真4. 同じ学校の日本人の友達

4. フィリピンでの生活について

平日は朝から夕方まで授業を受け、友達とランチやディナーに出かけたりしました。週末にはセブ島の観光地やリゾート地、フィリピンの離島へ出かけたりしました。中でも一番思い出に残っているのは、フィリピンでボランティア活動を行なったことです。フィリピンの施設の子供達に 120 人前のカレーを賄いました。そこでは、まだ英語を学ぶ前のフィリピン語しか喋れない小さい子供達に、日本の遊びを教えて遊んだり、バスケットボールで遊んだりして、一日中触れ合いました。ボランティア活動を行なって、やっとフィリピンがどのような所か知れた気がしました。貧しい村の現状やストリートチルドレンがなぜ多く存在するのか等の話を村の人に聞き、フィリピンの現状を理解することができました。



写真5. フィリピンの子供達(ボランティア活動)



写真6. フィリピンの子供達(ボランティア活動)

5. おわりに

今回、国際交流基金の助成を受けて様々な経験をすることができました。日本では味わうことのできない体験をし、文化の違いを実感し、自分を改めて見つめなおすことができ、とてもいい経験となりました。フィリピンでできた海外の友達・日本人の友達、先生やフィリピンの人々と触れ合い、人々の優しさを実感し、多くのことを学んだ留学でした。



写真7. 卒業パーティー